

「境界」を生きることの意味、「境界」を越えることの可能性

私たちは、知らず知らずのうちに、自分たちの間に張りめぐらされている様々な差異という「境界」の上を生きています。これらの「境界」は、しばしば人と人を区分し、分断する障壁として使われてきました。この数々の障壁に苦しむ人は数多いでしょう。しかし一方で、社会的少数派とされた人たち、弱者は、不当な扱いを受ける差異の問題を訴え、その「境界」の線上に、自分たちの権利を守るための団結の砦を築いてもきたのです。

本シンポジウムでは〈イスラーム×ジェンダー〉の視点から、これらの「境界」を生きることの意味、また「境界」を越えて連帯することの可能性について、議論することを目指します。

2019年イスラーム・ジェンダー学科研公開シンポジウム イスラーム×ジェンダー 「境界」を生きる／越える

日時 2019年12月21日（土）13:00-18:00

参加無料・申込不要

会場 東京大学 東洋文化研究所 3階大会議室



◀会場へのアクセス

司会

後藤絵美、岡真理

開会の辞

13:00-13:10

長沢栄治

趣旨説明

13:10-13:20

鳥山純子

第1部〈性別〉を考へる

13:20-14:50

青柳かおる

イスラームの「聖典」と〈性別〉

辻大地

歴史にみるイスラームと性

武内今日子

日本における「xジェンダー」の形成
—カテゴリーの自己執行による差異化・固定化

第2部〈性別〉を生きる

15:00-17:00

岡真理

映画City of Bordersについて

保井啓志

イスラエルのゲイ・コミュニティにおける境界と排除
—パレスチナ人ゲイの事例からの考察

細谷幸子

イランにおける〈性別変更〉をめぐる議論

河口和也

日本におけるゲイ・アクティヴィズム
—多様な境界を超える連帯の可能性

コメントと全体討論

17:10-17:50

三橋順子

閉会の辞

17:50-18:00

閉会

18:00

主催：科研費基盤研究(A)イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究（代表：長沢栄治）

共催：東京大学 東洋文化研究所

東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク

◀イスラーム・ジェンダー学科研ウェブサイト